**城里町　教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱**

**令和7年5月1日　城里町長　上遠野 修**

**１　郷土の歴史、文化、自然を深く理解し、ふるさとを愛し誇りに思う人材を育てる。**

**城里町が持続可能であるためには、城里町で育った子ども達が、城里町を愛し、「城里町に貢献し**

**たい」という郷土愛を抱いてくれるかどうかにかかっている。そのために、城里町の素晴らしさを**

**子ども達に伝えていく。**

　**（具体策の例）**

**・義務教育の9年間で「大好きしろさと　城里学ぶっく」を最初から最後まで学ぶ。（重点／必須）**

**学年毎に何ページを学習するかの基準を作成する。学年毎に理解度チェックを行う。**

**・「いせきぴあ茨城」の見学について、目的・実施時期について統一的方針を示す。**

**・城里町出身で政治、経済、学術、文化、スポーツ等で顕著な業績のある人物との交流や講演等を**

**毎年計画的に行う。**

**・薬師寺、小松寺の国指定重要文化財など町内の文化財や御前山・鶏足山などの自然、錫高野～塩子のタングステン鉱山などについて実際に見学して学ぶ。**

**２　各家庭への義務的教育費用を縮減する。**

**物価の高騰に給与の増加が追いつかず、実質賃金の低下が続いている中、子育てにかかる負担を軽**

**減していくことは、「茨城県で一番子育て支援が手厚い町」を目指す城里町にとって重要な施策で**

**ある。特に、学校が保護者に強制的に支出させる義務的教育費用を縮減できれば、その分を参考書**

**などの図書の購入や体験的学習にかけられる金銭的な余裕につながるため、教育の振興という観点**

**でも重要であるため、積極的に取り組まなければならない。**

**（具体策の例）**

**・桂中で制服に採用された安価な市販品（ユニクロ）について、今後制服を購入する予定の小学校の**

**保護者一般の意見を教育委員会はアンケートで速やかに聴取し、常北中でも採用を検討する。**

**・学校および教育委員会において行われる物品およびサービス(工事含む)の調達において、適正な**

**競争入札が行われるように管理を徹底すること。調達価格を下げることにより財源が生み出され、**

**それを子育て支援事業に回すことで、各家庭の負担を軽減することができる。**

**３　図書館およびコミュニティセンター城里を活性化する。**

**桂図書館およびコミュニティセンター城里の学習室にて勉強をしている学生をあまり見かけない。「図書館で勉強しながら1日過ごす」という文化が城里町にはない。小学生のうちから図書館を**

**身近に利用し、受験生になったら毎日利用するような雰囲気を醸成していくべきである。**

**（具体策の例）**

**・部活動のない月曜日を「図書館利用奨励日」として、中学生の図書館利用を推奨する。**

**・桂図書館の２階の空きスペースを学習室・読書室として位置づけて、利用を奨励する。**

**・桂図書館にカフェを併設し、長時間滞在をしやすい空間とする。**

**以　上**